

8つの重点政策課題

いきいき県民ライフの環境づくり

2

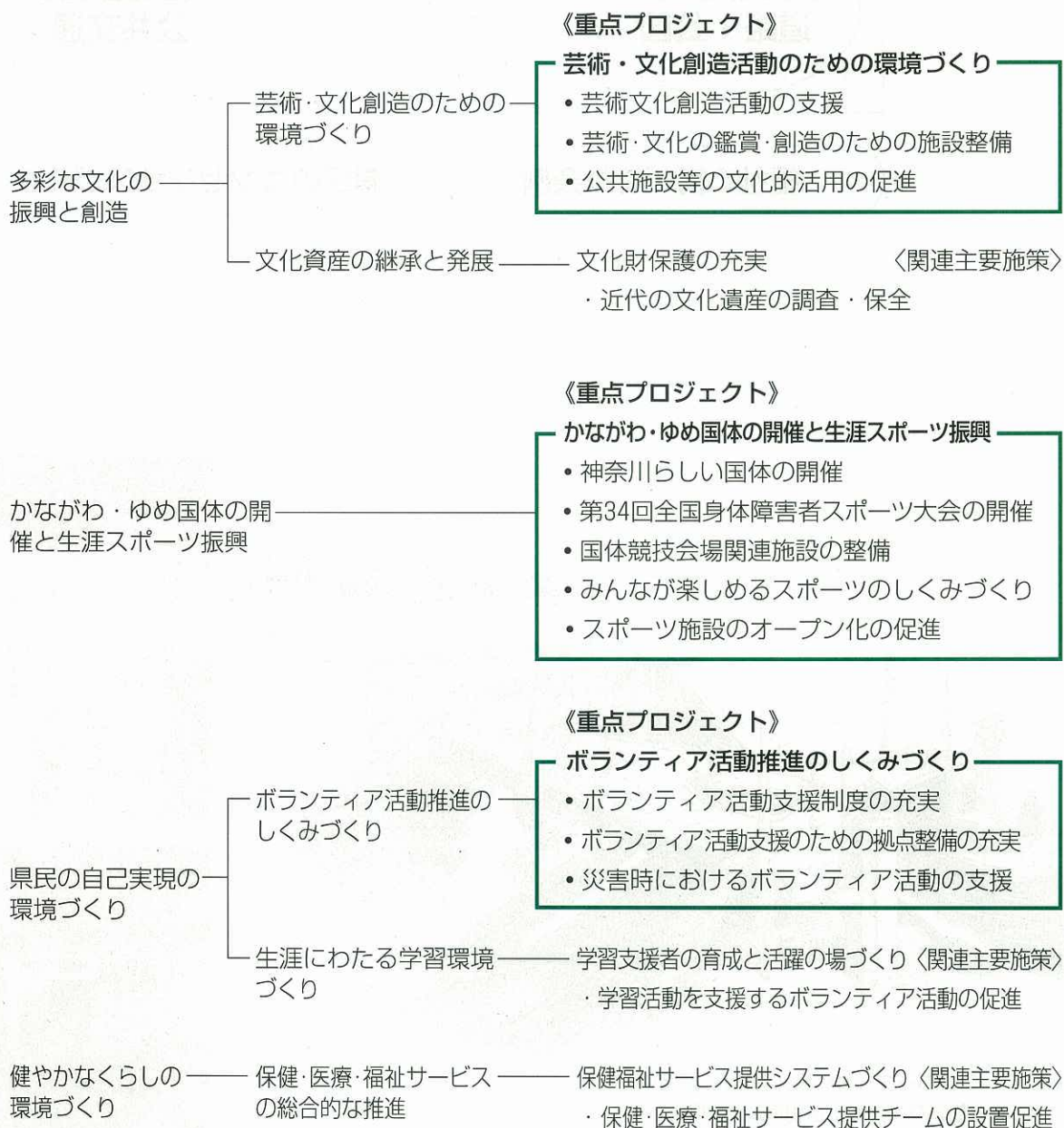
重点政策課題

■ 課題内容

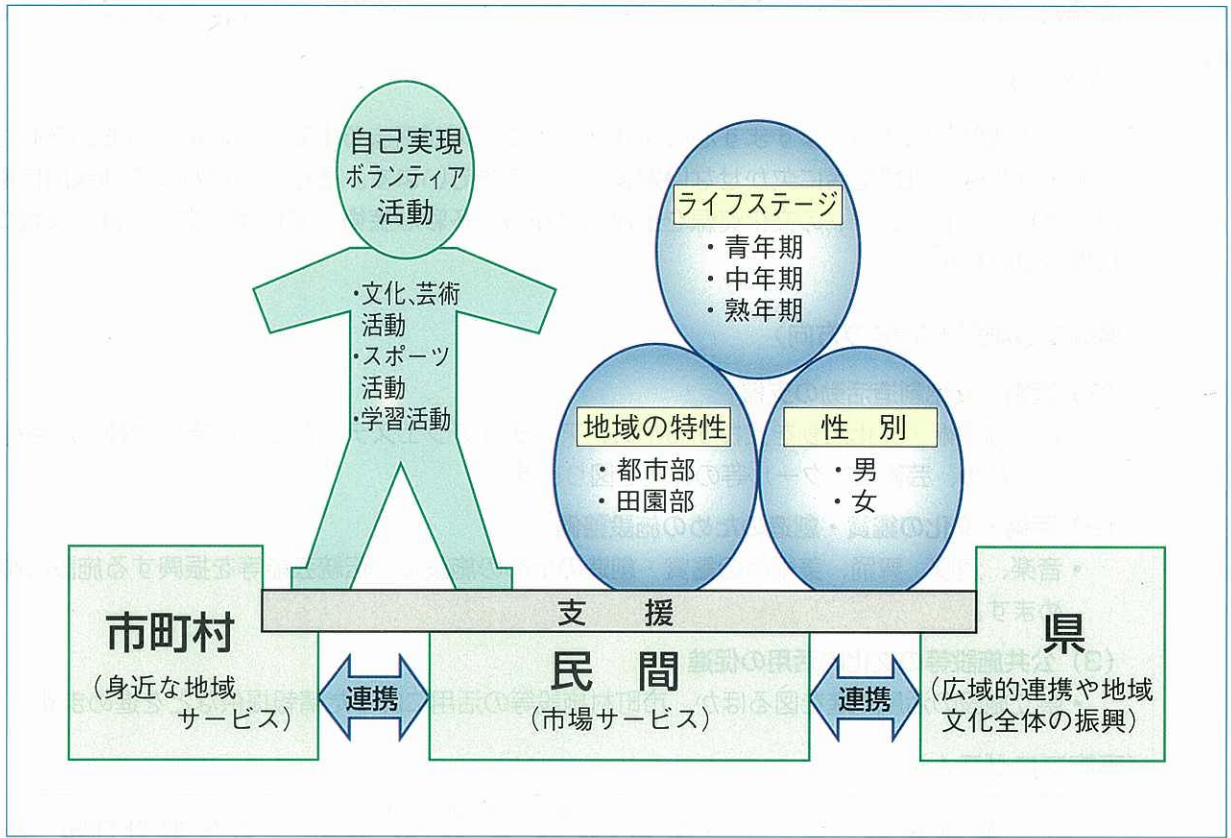
経済の成熟化、労働時間の短縮、高齢社会の到来などにより、県民のライフスタイルが多様化し、ゆとりや精神的充足を求める意識が高まっています。そこで、これらの様々な自己実現の意欲の高まりに応える、社会参加、生涯学習、スポーツや余暇の機会の充実が課題となっています。

県民が、様々な生活のステージで、自己実現のために行う活動（学習・文化・芸術・スポーツ活動）やボランティア活動等を行いやすいように、市町村・民間と連携をとりながら、県として必要な支援を行い、彩り豊かないきいきとした県民生活の実現をめざします。

■ 政策展開の方向



■ 概念図



舞台芸術創作活動



ふれあいスポーツイベント



県民活動サポートセンター交流サロンでの活動

重点プロジェクト

芸術・文化創造活動のための環境づくり

4

重点政策課題

〈ねらい〉

社会の成熟化に伴い、ますます心の豊かさへのニーズが高まる中で、生活にうるおいをもたらす芸術・文化は、県民生活に欠かせない要素となってきました。そこで、これまで神奈川に蓄積されてきたハード・ソフトの文化資源を生かしながら、多彩な芸術・文化が生まれ、育つ環境づくりに取り組みます。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) 芸術・文化創造活動の支援

- 様々な芸術・文化活動を支援するため、アマチュアフェスティバル等の支援や神奈川芸術フェスティバル、芸術コンクール等の充実を図ります。

(2) 芸術・文化の鑑賞・創造のための施設整備

- 音楽、演劇、舞踊、美術等の鑑賞・創造のための施設及び伝統芸能等を振興する施設の整備を進めます。

(3) 公共施設等の文化的活用の促進

- 県立施設の活用促進を図るほか、市町村施設等の活用に向けた情報提供などを進めます。

〈実施プログラム〉

構成施策	主体	施策実施年度					5年間計(1997～2001)
		97	98	99	00	01	
(1) 芸術・文化創造活動の支援 • アマチュアフェスティバルの支援 • 芸術創作活動の展開 • 芸術コンクールの充実 • 神奈川芸術フェスティバル事業の充実	民間						県域連盟組織の大規模事業等への支援
	県、民間						舞台芸術創造推進事業の充実
	県、民間						作曲・美術コンクール等の実施
	県、民間						神奈川芸術フェスティバルの実施
(2) 芸術・文化の鑑賞・創造のための施設整備 • 音楽ホールの整備 • 演劇・舞踊等のための施設の整備 • 近代美術館の新館等の整備 • 伝統芸能等を振興する地域文化等支援施設の整備	県						音楽堂改修(調査、設計)
	県						青少年センター等改修(調査、設計、工事着手)
	県						新館建設(調査、設計、工事着手) 本館改修(調査、設計)
	県						基本構想、事業計画、整備
(3) 公共施設等の文化的活用の促進	県、市町村、民間						状況調査、情報の収集

〈ねらい〉

1998年（平成10年）に開催される「かながわ・ゆめ国体」を一過性の祭典として終わらせることなく、21世紀に向けて生涯スポーツを推進していくための機会として、その成果をつなげていくことが、重要な課題となってきます。

そこで、生涯スポーツの時代にふさわしい新しい国体を創造するとともに、充実する施設の効果的な活用や、地域における生涯スポーツ活動の促進など、県民の誰もが身近なところでスポーツを楽しめる環境づくりを進めます。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) 神奈川県らしい国体の開催

- ・かながわスポーツボランティアバンクの運営や、かながわ・ゆめ国体募金を推進するほか、国体競技施設の整備を着実に進めます。

(2) 第34回全国身体障害者スポーツ大会の開催

- ・正式競技、かながわ・ゆめ競技（公開競技、ふれあいスポーツ）等を実施します。

(3) 国体競技会場関連施設の整備

- ・国体競技会場となる県立都市公園や、会場周辺の道路等の整備を進めます。

(4) みんなが楽しめるスポーツのしくみづくり

- ・地域における総合型スポーツクラブのモデルシステムづくりに取り組むとともに、民間主導によるスポーツ振興の基盤となる団体の再編を進めます。

(5) スポーツ施設のオープン化の促進

- ・国体で整備された施設等を誰でも気軽に利用できるように、施設のオープン化をめざします。

〈実施プログラム〉

構成施策	主体	施策実施年度					5年間計(1997～2001)
		97	98	99	00	01	
(1) 神奈川県らしい国体の開催 ・かながわスポーツボランティアバンクの運営 ・かながわ・ゆめ国体募金の推進 ・国体競技施設の整備	県、市町村 県、市町村 県、市町村	■	■	■	■	■	募集、登録、育成、情報提供等 募金推進委員会の運営、普及啓発活動等 津久井馬術場（仮称）及び市町村競技施設整備への支援
(2) 第34回全国身体障害者スポーツ大会の開催	県、横浜市、 川崎市、民間	■	■	■	■	■	正式競技、かながわ・ゆめ競技等の開催
(3) 国体競技会場関連施設の整備	県	■	■	■	■	■	秦野戸川公園他2公園、会場周辺道路、湘南港・葉山港等の整備
(4) みんなが楽しめるスポーツのしくみづくり ・総合型スポーツクラブの開発とシステムづくり ・スポーツ振興組織の強化	県、市町村、 民間 県、市町村、 民間	■	■	■	■	■	調査・研究、推進協議会の開催、モデル事業の実施 準備会設立・財団設立・事業委託・運営費等助成
(5) スポーツ施設のオープン化の促進 ・施設間相互利用システム開発・ 学校体育施設利用の促進 ・国体競技施設のオープン化	県、市町村 県、市町村	■	■	■	■	■	市町村間相互利用推進体制の整備、 県立学校体育施設の開放 土曜日や国体を記念した一般開放の促進

重点プロジェクト

ボランティア活動推進のしくみづくり

6

重点政策課題

〈ねらい〉

阪神・淡路大震災では、全国からの様々なボランティアやボランティア団体による活動が大きな役割を果たしました。

こうしたボランティア活動は、社会の活力を維持し、行政だけでは対応できない社会的な課題へ対応していく役割をもっており、今後ともボランティア活動の重要性は増してくるものと考えられます。

そこで、総合的なボランティア活動支援指針を策定し、様々な人々が気軽にボランティア活動に参加できるよう、多様なボランティア活動を支えるための環境条件を整備し、個性豊かな成熟化した市民社会をめざします。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) ボランティア活動支援制度の充実

- ・総合的なボランティア支援指針を策定するとともに、ボランティア保険の充実など、活動基盤の支援に取り組みます。

(2) ボランティア活動支援のための拠点整備の充実

- ・地域の活動支援拠点である県民活動サポートセンターの充実を図るとともに、市町村、民間団体のボランティアの活動拠点の支援に取り組みます。

(3) 災害時におけるボランティア活動の支援

- ・災害救援ボランティアのための活動拠点の整備に取り組み、災害救援ボランティアとの連携のための体制づくりを進めます。

〈実施プログラム〉

構成施策	主体	施策実施年度						5年間計(1997~2001)
		97	98	99	00	01	02以降	
(1) ボランティア活動支援制度の充実 ・活動支援指針の策定	県	[Green Bar]						ボランティア活動推進の指針策定及び推進
(2) ボランティア活動支援のための拠点整備の充実 ・県民活動サポートセンターの充実 ・ボランティアセンターの充実 ・国際交流協会の充実	県, 民間, 民間, 民間	[Green Bar]						アドバイザー及びボランティアサロンの充実 データベース及び情報ネットワークの整備 情報提供・相談体制の強化・多様なネットワークづくり NGO活動への支援
(3) 災害時におけるボランティア活動の支援 ・災害救援ボランティア情報センターの整備 ・災害救援ボランティアの人材育成 ・応急危険度判定士の育成	県, 県, 民間, 県, 民間	[Green Bar]						災害ボランティア拠点整備 2か所 ボランティアコーディネーター等の養成 判定士の育成 概ね年間660人の育成 (一万人体制の確保)